

# ホルムアルデヒド

# Formaldehyde

# HCHO

## 1. 別名

ホルマリン、メタナール

## 2. 性質

(通常37%水溶液で安定剤として0~13%のメタノールが添加されている。)

分子量； 30.03 比重； 0.8(気体)

沸点； -19.3

爆発範囲； 7.0~73%

発火温度； 424 (37%水溶液)

溶解性； 溶

許容濃度； 日本0.1ppm

米国0.3ppm (STEL天井値)

管理濃度； 0.1ppm

## 4. 他の分析方法

ポーラログラフ法 (NIOSH)、吸光光度法 (クロモトローブ酸法、AHMT法)、ガスクロマトグラフ法 (NIOSH)、高速液体クロマトグラフ法

## 5. 用途及び発生場所

石炭酸系・尿素系・メラミン系合成樹脂原料、ピニロン、ウロトロピン、パラホルムアルデヒド・ヘキサメチレンテトラミン等の製造原料、消毒剤、防腐剤

## 6. 関係法令

安衛令 (名称等表示, 危険物), 特化則 (第2種), 毒劇法 (劇物)、危険物船送則 (引火性液体類、有害性物質)、ビル管法、学保法、IMDGコード・クラス3

- 3

## 3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性；通常水溶液であるため、引火爆発の危険性は比較的少ない。

人体への影響；皮膚や目を刺激し、頭痛、全身衰弱、感覚障害、不正呼吸、咳がおこる。  
慢性症状として、結膜炎、咽頭炎、皮膚湿疹などを示すほか、肝・腎臓の障害がおこる。

### 濃度と作用

濃度 [ppm]	作用
2~3	鼻、のどに軽い刺激。
4~5	不快感、催涙作用。
10~20	しきりと咳をする。
50~100	5~10分間のばく露で気管支炎および気道炎がおこる。

## 7. 検知管の適用

